

令和5年度 地域介護専門職員研修 開催要綱

1. 目的

介護に関する業務を行う上で必要な知識・技術について、より専門性を高め、かつ自らの所属する施設（機関、事業所等）内に限らず広く地域において中核的・指導的な役割を担う人材の養成を目的とします。

2. 主催

社会福祉法人 福島県社会福祉協議会

3. 受講対象

介護や高齢者など福祉に関わる事業所・施設等の職員で、職場内に限らず広く地域において中核的・指導的な役割を担うことができる職員（または期待される職員）を受講対象とします。

詳しくは、各研修の「受講対象」欄をご確認ください。

4. 各研修の概要

※プログラム・内容の詳細については県社協ホームページからご確認ください。

①-1 企画力アップ研修（地域アセスメント編） 【前期オンライン：後期集合型研修】		定員 30名 参加負担金 2,000円 申込締切 5月17日（水）
期日	前期：令和5年6月16日（金）※Zoom 後期：令和5年7月14日（金）※会場【2日間】	
目的	地域の実情を見つめなおすきっかけとし、「介護」に関わる人たちが、『ぜひ参加してみたい！』と思えるような介護に関する講座等企画の実施にあたり必要な地域アセスメントの手法を学ぶ。	
受講対象	高齢者福祉関係機関・施設等の職員で、介護に関する講座（サロン・カフェ）や研修、イベント等の企画・運営・実施を担当している者。または今後担当したいと考えている者。	
内容（概要）	・個別課題を地域の課題としてとらえる ・地域課題の実際事例 ・地域アセスメントの視点 など ※他の「企画力アップ研修」とのセット受講をおすすめします。	
①-2 企画力アップ研修（広告作成編）		定員 30名 参加負担金 2,000円 申込締切 6月28日（水）
期日	令和5年7月28日（金）	
目的	施設・事業所で住民等対象の事業やイベント等を地域に向けて発信にあたり、チラシ等の広告作成のノウハウを学ぶことで、イベント等の参加者の確保につなげ、地域の福祉力向上を図る。	
受講対象	高齢者福祉関係機関・施設等の職員で、介護に関する講座（サロン・カフェ）や研修、イベント等の企画・運営・実施を担当している者。または今後担当したいと考えている者。	
内容（概要）	・基本的なレイアウト・デザインを学ぶ ・肖像権や著作権の利用について ・すぐに使えるテンプレートの紹介 など ※他の「企画力アップ研修」とのセット受講をおすすめします。	

①-3 企画力アップ研修（研修・イベント実施編） ～つつがなく成功に導くためのコツとは～		定員 30名 参加負担金 2,000円 申込締切 9月15日（金）
期日	令和5年10月26日（木）	
目的	施設・事業所等の主催で、住民等を対象として研修やイベントを実施し、自身が講師や進行役となって登壇する際の、プレゼンテーション力（表現力）やファシリテーション力（促進力）を高め、つつがなく成功に導くためのコツを学ぶ。	
受講対象	高齢者福祉関係機関・施設等の職員で、介護に関する講座（サロン・カフェ）や研修、イベント等の企画・運営・実施を担当している者。または今後担当したいと考えている者。	
内容（概要）	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション（表現力）とは？ ・ファシリテーション（促進力）とは？ ・伝わりやすい語り方、人前で話す態度やふるまい など ・アイスブレイクの扱い方 ※他の「企画力アップ研修」とのセット受講をおすすめします。 ※「令和5年度社会福祉研修事業概要」（令和5年3月県社協発行）に記載の企画力アップ研修（プレゼン力強化編）の研修名称が上記の研修名に変更となりました。	

②-1 相談援助面接研修（記録編）基礎コース ～明日から活用できる福祉職の「記録」の基礎を学ぼう～ 【オンライン研修】		定員 40名 参加負担金 2,000円 申込締切 6月30日（金）
期日	令和5年8月3日（木）	
目的	相談援助職や介護職に必要な「記録」の基礎的な考え方や方法を学ぶ。	
受講対象	介護業務や相談援助業務等に1年以上従事している者。または、それに資する経験や知識を持つ者 介護記録や相談記録の基本的な書き方を身につけたい者。	
内容（概要）	※Z o o mを活用したオンライン研修として実施します。（会場での受講も可能。） ・対人援助職に求められる記録 ・記録に必要とされる要素 ・実際の記録の演習等	

②-2 相談援助面接研修（記録編）実践コース ～福祉職の「記録」を事例を通して実践的に学ぼう～ 【オンライン研修】		定員 40名 参加負担金 2,000円 申込締切 8月8日（火）
期日	令和5年9月6日（水）	
目的	「記録」の実際について、事例を中心に現場で応用し実践できる内容を学ぶ。	
受講対象	昨年度までに相談援助面接研修（記録編）基礎コースを受講している者。 又は今年度実施の「基礎コース」を受講見込みの者。	
内容（概要）	※Z o o mを活用したオンライン研修として実施します。（会場での受講も可能。） ・相談援助職として書く記録 ・専門職として適切な表現 ・記録の実際（事例を用いた様々な場面での記録の方法） ・実際の記録の演習等	

③ 相談援助面接研修（初級編）		定員 各30名 参加負担金 各3,000円 申込締切 第1回 5月9日（火） 第2回 8月18日（金）
期日	第1回：令和5年5月25日（木）～26日（金） 第2回：令和5年9月14日（木）～15日（金）【各2日間】※いずれも同じ内容です。	

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・対人援助職に必要な倫理や、面接の基礎的な知識・技術を再確認する。 ・実践的な手法を学び、相談援助業務を円滑に進められるようになる。
受講対象	<p>相談援助業務に1年以上従事し、より専門的な知識・技術の修得を希望する者。 または、それに資する経験や知識を持つ者</p>
内容(概要)	<ul style="list-style-type: none"> ・相談援助専門職に必要とされる資質について ・映像「面接の招待」を使用しての面接練習・相談援助職の心得と対人援助の基本的視点（YESのメンタルセット、脱三角関係など）

④ 相談援助面接研修（中級編） ～相談援助専門職としてのさらなるスキルアップを目指そう～		定員 30名 参加負担金 5,000円 申込締切 8月9日（水）
期日	前期：令和5年 9月27日（水）～28日（木） 後期：令和5年10月18日（水）～19日（木）【全4日間】	
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・相談内容に柔軟に対応・介入できる知識や技術を学ぶ。 ・利用者の生活状況や生活課題を理解・分析するための方法や援助技法を学ぶ。 	
受講対象	<p>相談援助業務に5年以上従事している者。または、それに資する経験や知識を持つ者 （先に③相談援助面接研修（初級編）を受講していることが望ましい。）</p> <p>※申込書送付の際に、「基本情報シート」（別紙）を併せてお送りください。</p>	
内容(概要)	<ul style="list-style-type: none"> ・相談援助面接の基本と援助姿勢の考え方 ・アプローチ技法（医療モデル、社会モデル、システム論的家族療法アプローチ法など）、ロールプレイを通しての面接のスキルアップ 	

⑤ 福祉用具・住宅改修研修		定員 30名 参加負担金 5,000円 申込締切 9月15日（金）
期日	前期：令和5年10月4日（水）～5日（木） 後期：令和5年11月29日（水）～30日（木）【全4日間】	
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・要介護者等の自立した在宅生活を支援するための福祉用具の活用方法や住環境整備の概要、住宅改修にあたっての必要な知識・技術等を一体的に学ぶ。 ・他職種との連携のあり方について理解を深める。 	
受講対象	<p>高齢者の相談援助業務等に従事し、利用者の生活支援のための福祉用具導入や住宅改修に関する基本的知識・技術の習得を希望する者。</p>	
内容(概要)	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉用具・住宅改修に関する基礎知識 ・様々な福祉用具の選び方・使い方 ・自立を目指した日常生活動作と福祉用具の適応・活用方法について ・手すり設置のポイント ・福祉用具・住宅改修のプランニング演習 	

⑥ 排泄ケア研修 ～利用者の尊厳を守り、生き方を支えるケアを学ぼう～ 【前期オンライン：後期集合型研修】		定員 30名 参加負担金 5,000円 申込締切 9月21日（木）
期日	前期：令和5年11月10日（金）～11日（土） ※Zoom 後期：令和5年12月 8日（金）～ 9日（土） ※会場 【全4日間】	
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の尊厳や生き方に関わる「排泄」の課題について、その機能障害の原因やメカニズム、排泄用具の使用方法等を学ぶ ・チームケアを実施するための考え方・手法を学ぶ。 	
受講対象	<p>入所施設等で3年程度、排泄ケアに携わってきた者。または、それに資する経験や知識を持つ者</p> <p>※事前学習課題（事例、排尿記録）を提出頂くことが必須条件になります...</p>	
内容(概要)	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄ケアに必要な基礎知識 ・アセスメントに活用できる排泄記録の読み方・使い方 ・認知症高齢者の排泄ケア ・排泄ケアに役立つ用具・用品ならびに食品 ・排泄ケアにおける問題の捉え方、目標の設定評価について ・事例検討 	

⑦-1 ピンポイント介護技術研修（移乗・移動介助編） ～実技中心の研修で、もう一度学び直そう～		定員 30名 参加負担金 各2,000円 申込締切 6月22日（木）
期日	令和5年7月21日（金）	
目的	要介護者の生活を支える基本的な介護技術について学び、適切な支援ができるようになるとともに、家族などにもアドバイスできる職員を目指す。	
受講対象	介護業務に従事し、更なる知識・技術の習得を希望する者。	
内容（概要）	・介護技術の基本 ・ボディメカニクスで考える介護動作 ・実技（移乗・移動の介助）	
⑦-2 ピンポイント介護技術研修（介護レクリエーション編） ～実技中心の研修で、もう一度学び直そう～		定員 30名 参加負担金 2,000円 申込締切 8月24日（木）
期日	令和5年9月21日（木）	
目的	介護施設等で活用できるレクリエーションを実践的に学び、要介護者の生きがいや QOL の向上につなげる。	
受講対象	介護業務に従事し、更なる知識・技術の習得を希望する者。	
内容（概要）	・レクリエーションの意義や役割 ・レクリエーション事例の紹介や実践	
⑦-3 ピンポイント介護技術研修（排泄介助編） ～実技中心の研修で、もう一度学び直そう～		定員 30名 参加負担金 2,000円 申込締切 10月26日（木）
期日	令和5年11月24日（金）	
目的	要介護者の生活を支える基本的な介護技術について学び、適切な支援ができるようになるとともに、家族などにもアドバイスできる職員を目指す。	
受講対象	介護業務に従事し、更なる知識・技術の習得を希望する者。	
内容（概要）	・介護技術の基本 ・ボディメカニクスで考える介護動作 ・実技（おむつの介助）	

5. 会場

『福島県男女共生センター』（女と男の未来館） 二本松市郭内一丁目196-1

※会場の変更があった場合は、各受講決定者へ別途お知らせします。

6. 受講申込み方法について

- 別紙『受講申込書』に必要事項を記入のうえ、FAX又はメールにてお申込みください。
- 到着後3日以内に「到着確認印」押し返信FAXいたします。返信がない場合はご連絡ください。
- 各コースとも先着順で定員になり次第締め切ります。同一の研修コースに複数名の申込をした施設等については、受講者数の調整をさせて頂く場合がありますので予めご了承願います。

申込期間 令和5年4月18日（火）～

※申込締切日は各コースにより異なりますので、ご注意ください。

7. 受講者の決定について

- 申込締切後に受講者を確定し、受講決定通知を所属長宛てに送付します。
- 受講決定通知は、各研修の申込締切後約1週間程度で送付します。研修開催日の1週間前になっても届かない場合は、本会にご連絡ください。
- 事前課題を課す研修の場合は、受講決定通知の際に同封しお知らせいたします。

8. 個人情報の取扱いについて

『受講申込書』に記載された個人情報は、研修の運営管理の目的にのみ利用させていただきます。なお、本研修の名簿に氏名・所属・職名を記載します。

9. 留意事項

本会では、引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止のため以下の対策を講じますので、皆様のご協力をお願いいたします。(今後の状況により変更となる場合がありますので予めご了承ください。)

<主催者としての主な対策>

- (1) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努め、研修開催については、国及び県の感染防止対策や使用する会場の方針に則り実施します。
- (2) 研修会場の入口に手指消毒液を準備いたしますのでご利用ください。
- (3) 本会職員や研修講師については、手洗いやマスク着用等を徹底します。
- (4) 研修中は会場入口のドアや窓を開ける等、定期的に換気を行います。
- (5) テーブル、椅子、ドアノブ等の消毒を行います。

<受講される皆様をお願いしたい事項>

- (1) 発熱や風邪など体調不良の場合には受講をお取り止めください。
- (2) 必ず検温をした上で、事前に送付する「健康チェックシート」を受付時にご提出ください。
- (3) 研修当日は事務局の指示に従って受講してください。

10. その他

○参加負担金は研修会初日または振込用紙（オンライン研修）により徴収します。新型コロナウイルスによる理由に関わらずその後欠席されても返金できませんのでご了承ください。

○地震や台風、感染症の影響等により中止や延期とする場合があります。その場合は本会ホームページにてお知らせいたします。

※福島県社会福祉協議会ホームページ <https://www.fukushimakenshakyō.or.jp/>

○当該研修についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

問 合 せ 先	福島県社会福祉協議会 人材研修課二本松事務所（介護実習・普及センター） 〒964-0904 二本松市郭内一丁目196-1 福島県男女共生センター5階 電話 0243-23-8306 FAX 0243-62-4633 E-mail kaigo@fukushimakenshakyō.or.jp ※日曜・月曜・祝日は定休（月曜が祝日の場合は火曜まで休みとなります。）
------------------	---

⑤ 福祉用具・住宅改修研修

(1) 目的

- ・要介護者等の自立した在宅生活を支援するための福祉用具の活用方法や住環境整備の概要、住宅改修にあたっての必要な知識・技術等を一体的に学ぶ。
- ・他職種との連携のあり方について理解を深める。

(2) 日程

前期：令和5年10月 4日（水）～ 5日（木）

後期：令和5年11月29日（水）～30日（木）【全4日間】

(3) 会場

福島県男女共生センター 4階 第2研修室

（二本松市郭内一丁目196-1）

(4) 参加負担金

5,000円

(5) プログラム

前期 - 1日目		
9:30～9:50	受付	
9:50～10:00	オリエンテーション	
10:00～12:00	講義Ⅰ 「福祉用具・住宅改修に関する基礎知識（総論）」	（一財）太田総合病院附属太田西ノ内病院 医療社会福祉部 科長 高橋 淳 氏 （社会福祉士・精神保健福祉士・介護支援専門員）
12:00～13:00	— 昼食・休憩 —	
13:00～16:30	講義Ⅱ・演習 「福祉用具導入のポイント」 「自立を目指した日常生活動作と福祉用具の適応・活用方法について」 実習 「様々な福祉用具の選び方・使い方」	（一社）福島県作業療法士会 会長 （一財）竹田健康財団 竹田総合病院 リハビリテーション部 部長 長谷川 敬一 氏（作業療法士）
前期 - 2日目		
9:30～12:00	講義Ⅲ 「住宅改修に関する基礎知識①」	（公社）福島県建築士会副会長 兼福島支部支部長
12:00～13:00	— 昼食・休憩 —	NOB 設計工房 菅野 真由美 氏
13:00～16:00	講義・演習 「住宅改修に関する基礎知識②」	（一級建築士・福祉住環境コーディネーター）

後期 - 1日目		
9:30~9:50	受付	
9:50~10:00	オリエンテーション	
10:00~11:30	講義Ⅳ 「手すり設置のポイントや、歩行支援用具の活用方法について」 (自立支援・重度化防止の為にリハビリ専門職との連携方法)	(一社) 福島県理学療法士会 理事 介護老人保健施設サンライフゆもと リハビリテーション室 室長 齊藤 隆 氏 (理学療法士・介護支援専門員)
11:30~12:00	「事例検討を始めるにあたって」	
12:00~13:00	— 昼食・休憩 —	(一財) 太田総合病院 附属太田西ノ内病院 医療社会福祉部
13:00~16:30	事例検討Ⅰ 「福祉用具・住宅改修のプランニング演習」 (個人ワーク・グループワーク)	科長 高橋 淳 氏 (社会福祉士・精神保健福祉士 ・介護支援専門員)
後期 - 2日目		
9:30~12:00	事例検討Ⅱ 「福祉用具・住宅改修のプランニング演習」 (グループワークの続き)	(公財) 福島県建築士会副会長 兼福島支部支部長 NOB 設計工房 菅野 真由美 氏 (一級建築士・福祉住環境コーディネーター)
12:00~13:00	— 昼食・休憩 —	(一社) 福島県理学療法士会 理事 介護老人保健施設サンライフゆもと リハビリテーション室
13:00~14:30	事例検討Ⅲ 「プレゼンテーション (発表)」	室長 齊藤 隆 氏 (理学療法士・介護支援専門員)
14:30~15:30	研修のまとめ	